



# 潟小だより

上越市立大潟町小学校

E-mail ohgata-e@jorne.or.jp

令和6年1月26日

## 2学期 学校評価アンケートの結果から

おいそがしい中、学校評価アンケートへのご入力、大変にありがとうございました。結果を受けての改善策等をお知らせします。※回答率 78.1% (前回比+3.5%)

### 【児童アンケート】

①学校に来るのが、楽しい。

2学期  
1学期

②クラスやJチームの活動では、仲良く助け合っている。

2学期  
1学期

③相手のことを思いやる、やさしい言葉をつかっている。

2学期  
1学期

④授業中、先生や友だちの話を、しっかり聞いている。

2学期  
1学期

⑤授業中、自分の考えをノートやワークシートに書いたり、友だちに伝えたりしている。

2学期  
1学期

⑥家で学年×10分以上、家でい学習(宿題、自主学習、読書など)をしている。

2学期  
1学期

⑦体を動かすこと(運動や外遊び)や体育の授業がすきだ。

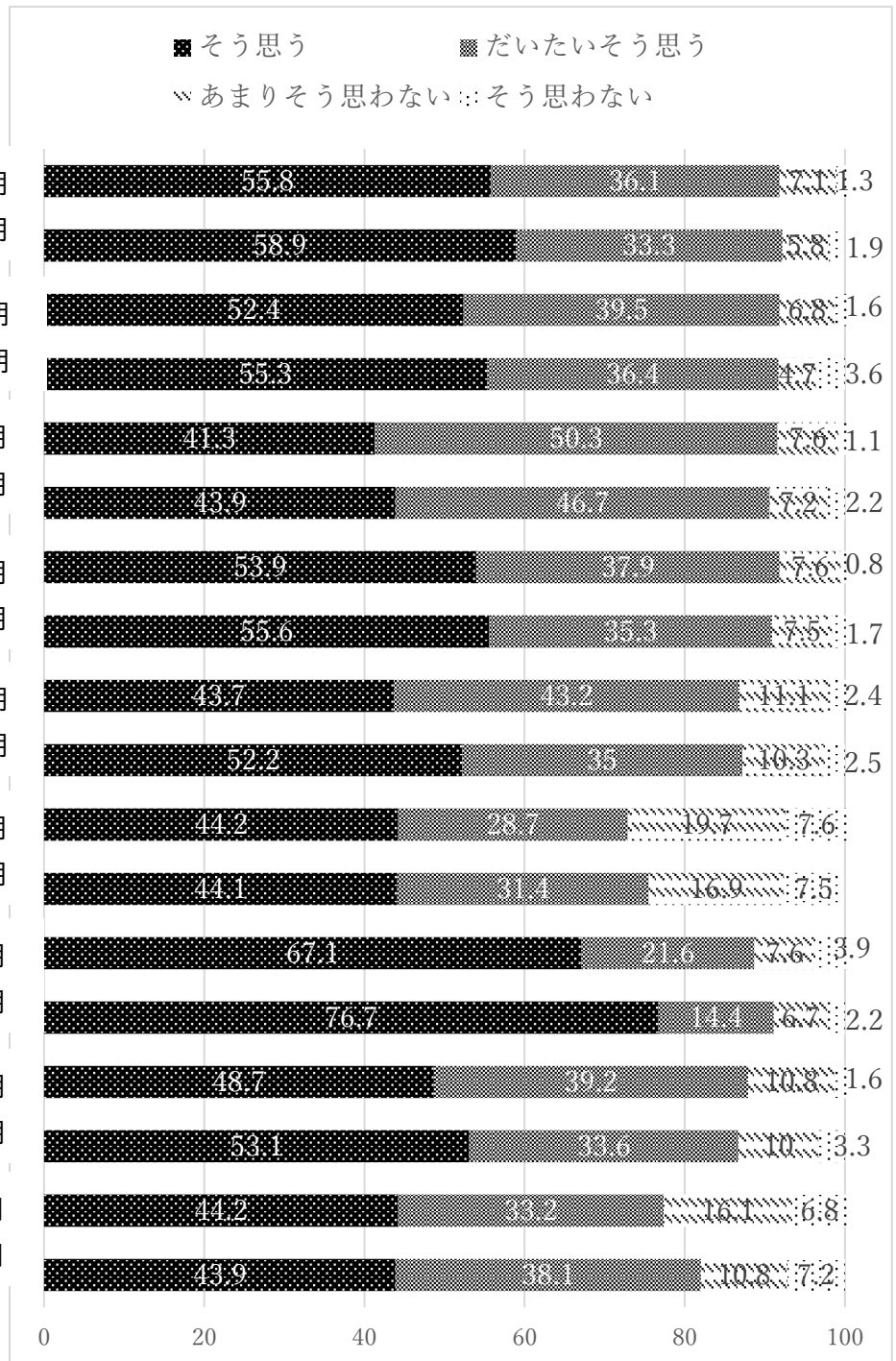
2学期  
1学期

⑧早ね・早おき・朝ごはんを守って、元気にすごしている。

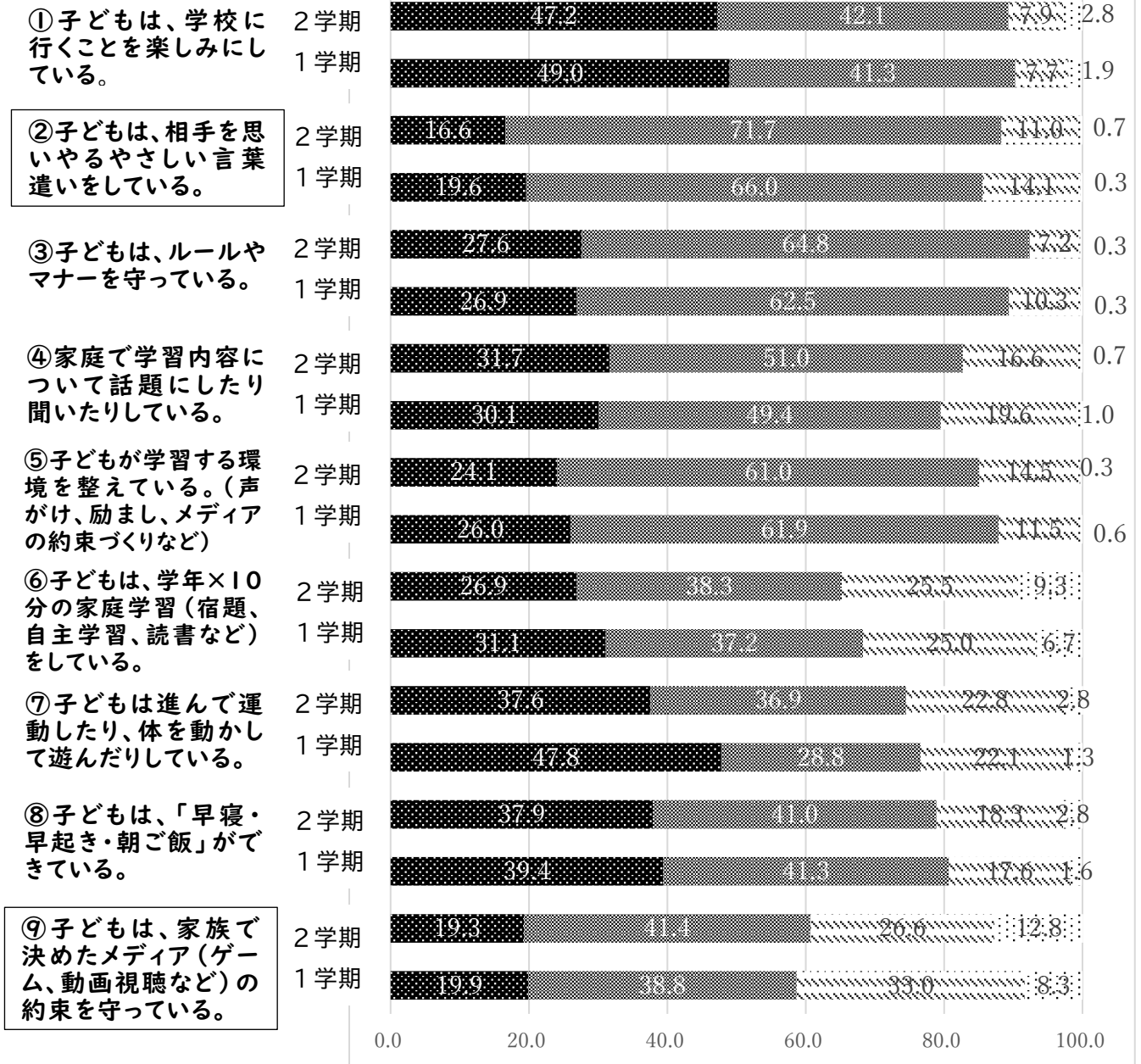
2学期  
1学期

⑨家族で決めた、メディア(ゲームや動画)などのやくそくを守っている。

2学期  
1学期



## 【保護者アンケート】



1学期の学校評価アンケートから、大湊町小学校の課題は「相手を思いやる言葉遣い」と「メディアとのかかわり方」ということが明確になりました。

「相手を思いやる言葉遣い」については、12月末の「湊小だより」で、「人権強調週間」の取組を紹介しました。高学年が中心になって行う委員会活動で、全校に「あたたかい言葉遣い」「心ぽかぽかメッセージ」の取組を呼びかけました。また、「いじめ見逃しゼロスクール集会」では、「相手が傷つく言葉」について話し合い、「友達を傷つける言葉は言わない」「悲しんでいる友達に言葉をかける」など、自分のこれからの行動について考え、紹介し合いました。



11月の学習参観では、全学級が「人権教育」の授業を公開しました。学年によって内容は違いましたが、「いじめや差別をしない・許さない・見逃さない」という共通のねらいで授業を行いました。また、ご家庭でも言葉遣いについて話をしてくださり、ありがとうございました。

このような取組の成果でしょうか、児童・保護者アンケートの両方で、「そう思う」「だいたいそう思う」の肯定的な回答が増えました。児童は、友達を傷つけるような言葉を言っていないか、行動はしていないかなど、自分を見つめ、見直そうとしているのではないかと考えます。

「メディアとのかかわり方」については、「そう思う」は微増であったものの、「だいたいそう思う」を含めた肯定的な回答は減りました。依然として、大きな課題となっています。

先日、何気なくテレビを眺めていると、次のような番組が放映されていました。

＜幼稚園の保育士から＞

- 就寝時刻が遅い⇒朝起きられない⇒朝ご飯を食べられない⇒園で疲れている、やる気が出ない、友達とのトラブルが多いという負のループが見られる。

＜上記園児の保護者の回答＞

→なかなか寝てくれない。家でも言うことを聞かない。それに、仕事をして家に帰ってきたときぐらい（親自身が）ゆっくりしたい、自分の時間がほしい。子どもがうるさく騒がないようにするためにスマホやタブレットを渡すと静かに過ごすことができるし、手がかからない。

＜日本医師会の解説者＞

- 私たちは、このような状況を「スマホやタブレットに子守りをさせている」と言っています。子どもの脳が大きく発達する幼少期に、親が育児より自分のことを優先させる、親が寝るまで子どもが起きている家庭が急増しています。これでは当然、睡眠時間が確保されなくなり、脳の発達に大きな影響を与えることが予想されます。
- このような状態で幼少期を過ごす、小学生になってから修正することが難しくなります。ゲーム同様、最近流行している動画視聴も「依存症」と関わりがあるとされています。「依存症」は病気ですので、治療が必要です。親や先生がいくら「だめ」と言っても止められないのです。

メディアと関わる時間が増えれば増えるほど、家庭学習の時間が確保できなくなります。今年度最後の「元気アップ大湯」の取組が始まっています。各ご家庭で、メディアを含めた時間の有効な使い方について、ぜひ話し合ってみてください。

なお、2月13日に、高学年を対象に上越教育大学の清水雅之教授を講師に、メディアに関わる講演会（高学年）を行います。興味のある方はぜひお越しください。

（13:45～です）

**スマホに子守りをさせないで!**

**睡眠時間**  
使おうと睡眠不足になり、体内時計が狂います（脳や眼の活動が正常でなくなる可能性があります）。

**学力**  
スマホを使うほど、学力が下がります。

**脳機能**  
脳にもダメージが!!

**体力**  
体を動かさないと、骨も筋肉も弱れません。

**視力**  
視力が落ちます（外視力や目の動きも落ちます）。

**コミュニケーション能力**  
人と直接話す時間が減ります。

長時間使うと、記憶や判断を司る部分の機能が低下し、集中力が低下します。

公益社団法人 日本医師会 公益社団法人 日本小児科医会

【保護者アンケート 自由記述から】 ※紙面の都合上、文章は簡略化しています。

・宿題や直しをやりきりたいが、子供の集中力の限界もあってできないことがある。集中力には個人差はある。宿題は子供の実態に合った量にしてほしい。これでは勉強嫌いになってしまう。

→ 学習面に関して、困った・困っているときは、学級担任に連絡してください。宿題については、子どもの実態に合った内容と量にしていきます。

・大瀧町小学校の児童は挨拶をする子が圧倒的に少ない。授業を受けないで校内をうろついている子がいるのに、放置している状況なのはどうか。

→ 挨拶については、職員はもちろんですが、生活委員会も朝、児童玄関前に立ち、全校児童に呼びかけ、お昼の放送でよかった学年や通学班などを伝えています。引き続き、指導をしていきますが、ぜひ、ご家庭や地域でも挨拶のよさなどを実践的に指導ください。

→ 学校には、様々な理由で教室にいることができない児童がいます。学校は、当該児童と行き場所の約束をしたり、危険がないように見守ったりして、それぞれの児童に応じた指導をしております。決して放置をしているわけではありません。ご理解いただきたいと思います。

・先生で言葉遣いが酷い方がいる。直してほしい。以前子どもを迎えに行った際、廊下で耳にした。気持ちの良いものではなかった。

→ 申し訳ありません。全職員で言葉遣いについて再確認をしました。子どもの手本・見本となるようにします。

・帰りのバス時刻表の見方が難しく、迎え時間を間違えることが何度かあった。迎えが多い低学年だけでも行き先別に単独で何時なのか明記してほしい。

→ 下校のバス時刻については、個別懇談や学期末など、通常時から変更があるときには、学年だよりや案内文書に記載しています。その他、通常のスクールバス時刻については、毎月、学年ごとにできるだけ見やすくした一覧表を配付しています。なお、悪天候等で急な変更がある場合は、PTAメールでお知らせします。

・持ち物や行事のお知らせはなるべく早めに教えてほしい。学校に出向いた際、出入り口等の案内を詳しく書いてほしい。

→ 全体に関わる学校行事などは年間行事予定に掲載しており、案内は1か月ほど前に出していますのでご確認ください。学年別の行事や校外学習の持ち物などは学年だよりなどなるべく早くお知らせするようにします。

→ 学校への出入り口については、学習参観や個別懇談などは児童玄関、PTA専門部や早退のお迎え、忘れ物などは職員玄関となっています。

・子どもがクラブで音楽に入っていた。発表会みたいなのがあったと嬉しい。

→ 子どもたちと相談をして発表の場の設定を考えていきます。



・ジャンボ遠足を9月から10月に移行してほしい。近年9月は真夏と変わらない酷暑の日々が続いている。当初心配していた通りに軽い暑気あたりになってしまった。

・予め学校から熱中症対策は聞かされていたが、今年のあの暑さではどうにもならなかったのではないかと思う。遠足は本来楽しいものなのに、暑さのせいではまん大会のようになるようでは意味がない。

→ 今年度は想定外の記録的な暑さに学校も困惑しました。ジャンボ遠足の時期は天候や気温を考慮して決定します。

・タブレットを頻繁に持って帰っているが使用されることがほぼなく、長距離徒歩登下校している子にとってはかなりの負担である。背中や腰の痛みを訴えるほどだ。ましてや成長痛も始まったのか膝や足首の痛みまで訴えるようになり、感染症時のためだとかいろいろと理由はあるかもしれないが、親としては子どもの成長時期にあの重みのあるものを毎日のように教科書とプラスで背負って来ることに疑問がある。タブレットの使用方法についてもう少し考えてもらいたい。

→ 県や市の教育委員会は毎日の持ち帰りを推奨しています。当校では、子どもたちの負担を考慮し、原則として、学級から課題が出たときや、子どもたちが家庭学習に使いたいときに持ち帰るようにしています。また、感染症が流行している時期に、リモート授業に備え、持ち帰ることもあります。タブレットを持ち帰るときは、ランドセル内の持ち物を減らすなどの対策をとっていきます。

・毎年の事だが、絵の具の筆は学校で洗えるが、習字の筆は持ち帰って家で洗うことになっている。以前筆から墨が漏れていたり、洗うのを忘れていたり、洗った筆を持っていくのを忘れていたりしたことがあった。習字の筆も学校で洗えないか。

→ 習字の時間は、準備や後片付けに時間がかかります。また、ご家庭でも同じだと思いますが、習字の筆の墨をよく落とすために時間がかかります。さらに、学校の狭い水盤で一気に大勢が洗うのは困難な状況です。加えて、筆は高額で手入れも大変です。道具を大事にすることも含めて家に持ち帰り、しっかりと丁寧に洗ってほしいという思いがあります。家に筆を持ち帰る前に、ある程度墨を落としてから持ち帰るようにしていますので、ご理解とご協力をお願いします。

・いろいろな都合もあると思うが、できるだけ年度始めに出した年間予定表の日通りに参観などの行事を行ってほしい。

→ 年度当初にお知らせした年間行事予定表のように進めていきたいのですが、感染症の拡大防止や諸事情により変更する場合があります。その場合には、なるべく早めにお知らせするように心がけます。なお、大湊町小学校のホームページには、随時年間行事予定表を更新したり、毎月の行事予定表を掲載したりしていますのでご確認をお願いします。

・持久走大会を見たかったので、開催日等の連絡をメールで教えていただくとありがたい。

→ 学年ごとの活動は、学年だより等に予備日や順延日程とともに明記していきます。

・登下校時の安全確保を強化してほしい。児童数が少ない地域は、今運用しているスクールバスに便乗させてほしい。

・今年の夏、猛暑で九戸浜の子どもたちはバス通になったみたいだが、潟町五区の子どもたちも猛暑の中長い距離を歩いている。また、冬になると岩野の子どもたちは朝、バス通になっている。潟町でも除雪が間に合わず雪に埋もれて登校する日もある。せめて低学年のうちだけでも潟町五区の子どもたちもバス通にしてもらえないか。

・渋柿浜の3年生からの徒歩通学は近年の暑すぎる夏や、ニュースで度々見る通学中の事故、子どもの人数が少ないので下校は1人で帰る日もあるなど、不安要素がたくさんある。スクールバス、路線バスなどの対応をしてほしい。

→ JRやバスについては、学校独自で決められることではありません。上越市教育委員会が取り決めたJRやバス通学に関する規定があります。現在、スクールバスや頸城バス、JRを利用している地区は、この規定に則ったものです。九戸浜は、保護者の総意により、自己負担によるバス通学となっています。

→ 近年、夏の猛暑や冬の積雪量が変化してきているため、遠距離の徒歩通学の安全面が懸念されます。学校としても、これまで同様、引き続き要望を出していきます。

・毎年の後援会費の回収、このままのやり方はこのまま変わらないのか。夏の暑い時期に、お金の事なので不審に思われぬように子どもを引き連れ、子どもがいない家庭に回るのが本当に辛い。ご厚意でいただくのに、来るのが遅いとか、年金暮らしから金取ってとか、子どもに聞かせるのがかわいそうなほど文句を言われることもある。なにか他の良い方法はないのか。

→ 大潟町小学校に後援会が結成されて10年が経ちました。後援会からのご支援のおかげで充実した教育活動が推進できますことに感謝申し上げます。後援会費回収の現状については、後援会の皆様にお伝えします。

以上、改善策等をお示ししました。また、掲載した以外にも貴重なご意見をいただきました。皆様のご意見を基に改善を図り、より“幸せな学校”になるように努めてまいります。今後ともご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

(文責 教頭)

<このようなメッセージもいただきました！>

- ・学校が楽しいと言っています。親の目から見ても本当に楽しんでいるのがわかります。学年が上がってもこの調子でいって頂きたいです。
- ・担任の先生には、いつも丁寧に対応いただき、ありがたく思っています。校長先生もいつも笑顔で行事に何う度に幸せな学校を感じます。今後共よろしく願いいたします。
- ・お世話になっております。2学期が早くて寂しいなと話しているくらい、楽しく過ごしているようです。これからも、のびのびと学校生活を送れるように家庭でも様子を見ていきたいです。
- ・校長先生が毎朝玄関に立って、子どもたちに挨拶されているので、子どもたちをはじめ、保護者も、ほっと安心します。朝のお忙しい時間に、素晴らしいなあと思っています。子どもは「マスクに『おはよう』って書いてあるんだよ」など、うれしそうに話しています。見守ってくれているということに、安心感を得ているんだろうなあと思っています。